

‘元気るんるん’は湯田小学校のほけんだよりです。

2022年(令和4年)2月14日  
福山市立湯田小学校

# 元気るんるん



3年生の児童が、「先生は、とってもがんばっているから」と、この手作りのシールをくれました。はじめてのごほうびシール。とってもうれしかったです。ありがとう！心がほんわかあたたかくなりました。❤️

「あたたかい季節・・・それは冬！」といえば、「うそでしょ?!」とかえってきそようですが、みなさん、よお〜く考えてみてください。とっても冷えた手のひらで、熱いカップを持ってココアなどを飲むと、とってもあたたかい！鍋を囲んで、家族や仲間であつあつしながら食べると、とってもあたたかい！手をつないだり、体を寄せ合うと、とってもあたたかい！等々・・・あたたかい！と感じるのは、不思議と春でも夏でも秋でもなく、やっぱり冬だと思いませんか？寒いからこそ感じられるあたたかさ。暑いからこそ感じられる冷たさ。困難だからこそ感じられる希望の光や燃える闘志。つらく、悲しいからこそ感じられる心の温もり・・・そんなふうに、物事は表裏一体なのだと思うこの頃。春は、もうそこまで来ています。みんなで心も体もあつあつあつあつ、寒さを吹っ飛ばしましょう！

## 2月の健康目標

## ＜寒さに負けないからだをつくろう＞

## 保健室物語



・・・ある日の保健室  
Aちゃんがやって来て、「・・・思い当たることはないんだけど、手が痛いのでみてください。」  
と言うので、「どんなふうに痛いのか？」  
と聞いたら、「ピーンとする感じ。痛くて、これ以上動かせないんですよ。」  
と言うので、「それ以上動かないの？」  
と聞いたら、「いやあ〜、動くつちやあ動きますけどお。」

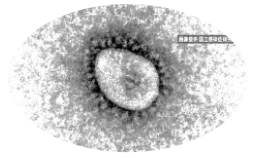
動くんかい！  
「でも、痛いんですよ。ものがつかめな  
いんです。(指うごかして) 痛ッ！痛ッ！」  
「つかめないの？」  
「いやあ〜、つかめるつちやあつかめま  
すけどお。」  
つかめるんかい！  
「でも、すんごく痛いんですよ。」  
痛いんかあ〜い！  
結局、痛みの正体はわからぬままです  
たが、すんごく痛い！ということなので、  
湿布をして、包帯を巻いてあげました。  
・・・痛い痛い飛んでいきますように！

### \*基本的な感染防止対策の徹底

- ① マスク
- ② 手洗い
- ③ 密回避
- ④ 換気

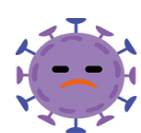
## 新型コロナウイルス

## 「ステルスオミクロン」ってなあ〜んだ？



新型コロナウイルスの感染拡大が止まりません。現在、世界的な主流となっている「オミクロン株」はBA.1といわれるものですが、デンマークやインドでは、「オミクロン株」が少し変異したBA.2「ステルスオミクロン」が大流行しています。「ステルスオミクロン」は、世界60カ国以上で発見され、広島県でも2月4日、県内で初めて確認されたと発表がありました。

### オミクロン株



- BA.1 \*世界で主流
- BA.2 \*ステルスオミクロン
- BA.3 \*目立った報告なし

オミクロン株には、現在3つの亜種(BA.1, BA.2, BA.3)が存在しています。

- ・ステルス(stealth)には、本来「内密」「こっそりした行動」などの意味があります。
- ・BA.2は、欧州で多く行われている「SGTF法」のPCR検査では検出されない場合があったため、一部の科学者の間で「ステルスオミクロン」と呼ばれるようになりましたが、日本では欧州と検査方法が異なるため、BA.2もBA.1と同様に検出は可能ということです。



### 【「ステルスオミクロン」の特徴】

- 感染力**  
・デンマークの国立血清研究所によると、BA.2の感染力は、BA.1より約1.5〜3倍強いという試算もあります。
- 症状**  
・上気道(口や喉)の感染が主になって、下気道での肺炎などは起こりにくくなっています。  
・重症化しにくく、致死率も、季節性インフルエンザと同等、あるいは低くなっているとの見解が示されています。

◆ 「オミクロン株(BA.1)」も「ステルスオミクロン(BA.2)」も症状は軽い傾向がありますが、感染者が増加すれば、一定の割合で重症者は増えていきます。そうになると、医療が逼迫して重症者が自宅療養に追い込まれたり、社会機能維持者(エッセンシャルワーカー)にも影響がおよび、社会生活が脅かされる事態も起こるかもしれません。感染者が増えるのを食い止めるカギをにぎるのは、どこまでいっても「感染防止対策」でしかありません。

「オミクロン株(BA.1)」も「ステルスオミクロン(BA.2)」も、  
\*しゃべっている感染者と15分間、対面したとき、マスク(不織布)をしていても50cm以内近づくと感染リスクは高まるそうです。  
\*飛沫以外にも「マイクロ飛沫」で爆発的に拡がるとの指摘もあります。

このように、これまでのウイルスにくらべて、感染力はとてつよく強いです。今まで以上に意識して、基本的な感染防止対策の徹底をお願いします。